

### 内藤会長による防衛省訪問について

11月13日、内藤会長、中島常勤副会長、森重理事長、綾川崎汽船常務執行役員、加藤商船三井常務執行役員他2名が防衛省を訪れ、統合幕僚長、海上幕僚長に対し、海賊対処行動に対する感謝の意を伝えました。

日本船主協会では、例年、ジブチに代表団を送り、現地の支援隊の拠点ならびに派遣されている護衛艦を訪問し、活動に感謝の意を表すために、護衛艦隊員、航空隊、陸上支援隊の方々をお招きしてレセプションを開催しているほか、東京においても「海賊対処行動感謝の集い」を開催しております。

今年は、あいにくの新型コロナウイルス禍の情勢のため、ジブチ訪問および感謝の集いを、止む無く中止いたしました。日ごろの活動に対する感謝の意を表すため、上記の訪問となりました。

初めに、内藤会長より、我が国の外航海運業界を代表して、統合幕僚長ならびに海上幕僚長に対して感謝の言葉を述べたあと、両幕僚長ならびに中島副会長、森重理事長、綾常務執行役員、加藤常務執行役員を加えて懇談いたしました。

統合幕僚長からは、来訪についての謝意と情報収集活動が一年を迎えようとしていることにつき説明があったほか、海上幕僚長からは、航行する商船からの感謝の声や護衛艦にとって大きな励みとなる話がありました。これに対し、綾常務から、護衛を受けた船長からの感謝の手紙を渡され、商船も感謝をしていることを伝えました。また、会長からは、新型コロナウイルス禍で船員交代が難儀していることを紹介するとともに、自衛隊出身の大使としてこの度ジブチに赴任された大塚特命全権大使への期待が示されました。

中島副会長からは、昨年の訪問団長として、遠隔地で酷暑の中での勤務の厳しさを感じ入った話がありました。

続いて、過去一年間にアデン湾の海賊対処行動に従事された石川将司2等海佐（第34次隊さざなみ艦長）、大島輝久2等海佐（第35次隊はるさめ艦長）、および米田一則2等海佐（第37次航空部隊、隊司令）に対して、内藤会長より感謝状と楯の贈呈が行われました。今回参加いただけなかった部隊の指揮官への感謝状等は、統合幕僚長にお預けし、後日、お渡しすることになっています。

その後、同様に歓談し、石川2佐より、活動に従事する際のモチベーションは、護衛した船舶や付近を航行している船舶からのお礼や励ましであること、メディアによる活動の報道も励みになったこと、米田2佐からはジブチに駐在していた際に集中豪雨の被害があり、水が不足し苦労されたことをお話いただきました。また、綾常務よりイラン・イラク戦争では、商船がコンボイを組んで、機雷を避けるために昼間航行をしていた苦労に触れ、

当時、護衛艦がいてくれたらという思いを述べられ、加藤常務からは、アデン湾を航行した際、海賊の件数が減っているとは言え、不安な思いがあり、護衛艦に遭遇すると胸をなでおろしたとのエピソードを披露し、感謝の念を伝えました。

最後に、会長より、来年は、コロナ禍が収まっていれば、例年通り、ジブチ訪問と感謝の集いを行いたいとの思いをお伝えして、防衛省を後にいたしました。



前列左から 山村海上幕僚長、山崎統合幕僚長、米田2等海佐、石川2等海佐、大島2等海佐、  
内藤会長、中島副会長、森重理事長  
後列左から 商船三井加藤常務、川崎汽船綾常務



今回、直接お渡しできなかった感謝状等を、山崎統合幕僚長に託す内藤会長